



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 15 (令和5年9月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧1-1
電話: 072-780-2488
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

★保護者から子どもへの虐待・保育における不適切保育を防ぐために

～子どもの権利を守るとはということか～8/28第6回 幼児教育研修会より～

講師 武庫川女子大学教授 倉石哲也教授のご講演について、大変参考になる内容でしたので共有いたします。

虐待が疑われる子どもに対しての専門的ケア(抜粋)

- ①安心できる場所の利用 その子にとって安心できる場所を園全体で認識し、利用を認める
※保育室は音・人の多さなど刺激が多く、安心な場所でない場合が多い。出て行ってしまおうのを戻さない!ではなく、「あれ?」「何か気になる…」の感覚を職員間で共有する。
- ②安心・安全の「対象」となる 複数の保育士が広く浅くかかわるのも大事。
×自分のクラスの子じゃないからかかわらない ×遠慮して声をかけない
- ③自尊感情の回復と成長 子どもの「できない」を保障する。「次に頑張ろうね」…子どもはほっとする。手伝い等「ありがとう」と言われる体験をさせることも有効。
×しっかりやりなさい、指示、禁止

加害保護者への対応について

- 不安・孤独・体調不良・自責の念など親が困難さを抱えている場合…まず「お母さん眠れてる?」「身体休められてる?」の声掛けを! ×「あの親は…」は親に伝わる。
- 知的・精神的に課題のある親の場合…コミュニケーションの工夫を。メモ、手紙、赤が好きな親に赤い字でメモを書く等。お願い事は「一つだけ」に絞る。
- トラウマのある親の場合…たいてい、「子どもが怒らせる」と子のせいにするので、「何があったの?」と出来事を丁寧に聞く。「先生わかってくれてる」安心感が、親の振り返りにつながる。

不適切保育について

- 前提として、「自分は問題ない」と捉えている行動が不適切な行動に該当するケースが多い。
している本人には自覚がない。→周りが気づくことが大切(同僚性)。
- 不適切保育が起きる時…
 - 保育者のとらわれている信念(～させないといけない)が強い時。
 - 子どもの気になる行動(修正させたい行動)を、子どものためにと思いつつ、自分の気になることを無くしたいため、責任を転嫁する(例 “切り替えの悪さが…” “身支度が…”)時。
→対策として、頭の中にシャークミュージックが流れる時を自覚する。

講演 DVD の貸し出しもできます。是非、施設内における研修にお役立てください。

★第3回自主勉強会のおしらせ★

夏に実施した第1回、第2回は、どちらも10数名の新任～5年目のフレッシュな先生方の参加がありました!

第3回は、**10/13(金)18:00～(予定)**

幼児教育センターにて

詳しいご案内は後日・・・
ほっとしておしゃべりできる会です。お待ちしておりますね☺



楽しく『保育座談会』



第2回『えほんセミナー』

★お知らせ★

伊丹市幼児教育シンポジウム 2023 開催

と き:令和5年12月3日(日) 13:00～16:00 ところ:東りいたみホール 大ホール

基調講演 「子どもの主体性を育む教育・保育を目指して」

～子どもを真ん中にして、語り合い、学び合う～

講師 お茶の水女子大学 アカデミック・プロダクション寄付講座 教授 宮里 暁美氏

実践発表 「語り合い、学び合う、職場における研修」

伊丹市私立保育園・公立こども園による実践発表

講評 大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治 氏

今年のテーマは
「語り合う職員集団」

○詳しくは、近日中にご案内いたします。また、伊丹市立幼児教育センターホームページにも近日中にアップしますので、ご覧ください。

○小中学校関係者の方もお待ちしております。

★おススメ保育専門書 (貸し出しできます!!)

「園内研修と会議が劇的に変わる 保育ファシリテーション」

鈴木 健史 著 矢藤 誠慈郎 解説 フレーベル館

保育の質の確保・向上のために欠かせない園内研修や会議。
あなたが考える理想の研修・会議とはどのようなものでしょうか。
保育ファシリテーションを取り入れて、だれもが認め合い、高め合える会議に変えましょう。

リラックスして
みんなが
積極的に
発言できる

立場に
関係なく
素直に思いを
伝え合う

会議の後は
互いの理解が
深まっている

